

令和4年12月22日会議概要

第1 日時

令和4年12月22日（木）午前9時20分から午前11時30分までの間

第2 出席者

森田委員長、増田委員、在田委員、池坊委員、森委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

交通機動隊訓練視察（12月15日）

委員から、「令和4年12月15日、京都競馬場駐車場において、交通機動隊の訓練を視察した。その際、実際に隊員が使用する白バイに跨がらせていただいたが、想像以上に大きく総重量は約300キログラムになると聞いた。このような大きなバイクを小柄な女性隊員が軽やかに操車するのを拝見し、日々の訓練の重要性を感じた。また、隊員が運転する四輪に同乗し、訓練コースを走行していただいたが、身体に強い加重がかかるなかで職務執行されていることを体験した。今後も、日々訓練を重ね、技能を磨いていただきたい。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 全ての職員が一層活躍するための職場環境の整備について

警務部長から、当府警察職員に対して実施したアンケート結果を踏まえ、ライフイベント等により生じる男女間の経験の差を埋め合わせ、個性や能力を最大限に発揮してキャリア形成を図れる環境をつくる「活躍支援」と、勤務時間に制約のある職員を始め全ての職員の仕事と子育て・介護との両立を実現する「両立支援」を両輪として、全ての職員が一層活躍するための職場環境の整備を推進する旨、報告があった。

委員から、「当府警察職員に対するアンケートにおいて、『働きがいがある職場である』と回答している職員の比率が他の一般企業等と比べ、非常に高いことに感心した。職場環境の整備については、非常に重要かつ難しい課題であり、今後ともアンケート結果を踏まえながら、より良い職場環境づくりに努めていただきたい。」旨、発言があった。

(2) 令和5年中における重点抑止犯罪について

生活安全部長から、令和5年中、京都府下において特に重点的に抑止に取り組む犯罪として、警察本部と各警察署が連携するなどして、予防と検挙の両面での取組を推進するため、「府下重点抑止犯罪」を指定するとともに、各警察署においても管内の犯罪情勢を踏まえ、自署において重点的に抑止する犯罪を指定し、署員一丸となった予防と検挙の両面での取組を推進する旨、報告があった。

委員から、「重点抑止犯罪として指定された性犯罪については、弱者を対象とする悪質な犯罪であり、しっかりと対応願いたい。また、なかなか減少しない自転車盗に対して一歩踏み込んだ対策を願いたい。」旨、発言があり、本部長から、「性犯罪については、重大犯罪に発展するおそれを考慮し、兆しや小さな犯罪の段階で先制的に対応し、犯罪の芽を摘

んでまいりたい。また、自転車盗に関しては、鍵かけ等の防犯指導をする一方で、自転車盗は勿論のこと、より重大な犯罪を未然に防ぐ第一歩として、職務質問を積極的に実施してまいりたい。」旨、返答があった。

(3) 皇后盃第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に伴う交通対策の実施について

交通部長から、令和5年1月15日、京都市内で実施される皇后盃第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に伴う交通対策の概要等について報告があった。

(4) 災害に強い警察情報通信の確保のための訓練の実施について

情報通信部長から、令和4年11月28日、京都府下の無線中継所において、災害により警察無線中継所の電源供給が絶たれたとの想定の下、機能維持のための対処能力向上を図ることを目的として、警察情報通信の確保訓練を実施した旨、報告があった。

委員から、「京都府の治安が維持されているのは、警察職員による地道な取組があつてのことであると改めて感じた。情報通信は、警察業務の生命線であり、有事に備え、今後も必要な訓練を続けていただきたい。」旨、発言があった。

(5) 追加報告

職員のコロナ感染状況について

警務部長から、前回報告以降の京都府警察職員のコロナ感染状況について報告があった。

(6) 本部長総括

本部長から、「12月16日の秋篠宮後嗣同妃両殿下の京都府お成りに伴う警衛警備を無事に完遂することができた。また、これから新年に向けて、初詣における雑踏警備等もあることから、各種警察活動に空白を設けないよう気を引き締めて対応してまいりたい。」旨、発言があった。

3 個別報告

(1) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

(2) 損害賠償請求事件の発生及び応訴について

監察官室訟務官から、令和4年10月14日、京都府を被告とする損害賠償請求事件が大阪簡易裁判所に提起されたことに伴い、棄却を求めて応訴する旨、報告があった。

(3) 優良運転免許証交付等請求事件の勝訴について

監察官室訟務官から、京都府公安委員会を被告とする優良運転免許証交付等請求事件につき、令和4年12月15日、京都地方裁判所が原告の請求を棄却する判決を言い渡した旨、報告があった。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定の審査請求に対する裁決について

犯罪被害者支援室長から、犯罪被害者等給付金の不支給裁定を受けた申請者が原処分を不服として審査請求をしたことに伴い、審査庁が審査請求棄却の裁決を行った旨、報告があった。

4 個別決裁

(1) 犯罪被害者等給付金（重傷病）の支給裁定について

犯罪被害者支援室長から、被害者本人による犯罪被害者等給付金支給裁定の申請の受理及びこれに伴う調査・検討について説明があり、審議の上、給付金の支給を裁定した。

(2) 「京都府警察手数料徴収条例」及び「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく信号機等の基準に関する条例」の一部改正について

交通企画課担当補佐から、特定自動運行許可制度及び遠隔操作型小型車届出制度を盛り込んだ道路交通法の一部を改正する法律の施行に伴い、「京都府警察手数料徴収条例」及び「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく信号機等の基準に関する条例」の一部を改正することについて説明があり、審議の上、決定した。

(3) 公安委員会宛て苦情等申出について（受理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して説明があり、審議の上、処理方針を決定した。

5 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、12件の行政処分を審議した。